

## 注目される化粧品市場～日本ブランドの化粧品は、まだ高嶺の花～

中川 良一

### <拡大するベトナム化粧品市場>

世界銀行及び Trade Map(国際貿易センター)のデータベースによれば、各国からベトナム向けに輸出した化粧品の金額は2011年5億米ドルでしたが、2016年には11億米ドルと飛躍的に伸びています。2020年には同国の化粧品市場は22億米ドルの市場規模になると予測されています。

ベトナムの化粧品市場が急速に拡大している背景には、2020年には3,300万人に達するとされる中流層の拡大と、個人の化粧品への支出拡大によるものです。現在ベトナムの化粧品に対する平均個人支出額はおよそ4米ドル/人/年で隣国のタイの20米ドルに比べ大変低いですが、将来的には、生活水準の向上に伴い化粧品に対する個人支出額も確実に増えるでしょう。

現在、ベトナムで使われている化粧品の90%は輸入品です。上位の輸入国はシンガポール、EU、タイ、韓国となっています。

輸入化粧品の種類及び割合は、香水55%、口紅等の化粧品21%、シェービングクリーム8%、ヘアケア製品7%、消臭剤4%、歯科製品3%、エッセンスオイル2%(出所: Trademap 2016)となっています。

ベトナム国内のマーケットは、ホーチミン市を中心とする南部のシェアが67%と最も高く、次いでハノイを中心とする北部が30%、中部のシェアは3%となっています。

### <世界が注目>

本年6月にホーチミン市でメコンビューティーショー2017 (Mekong Beauty Show 2017) が開催され、フランス、タイ、韓国、台湾、日本等世界各国から約600の化粧ブランドがこの展示会に出展しました。

また同時期に、イスラエル化粧品メーカー12社による調査団もベトナムを訪問し、市場調査を行いました。

独立行政法人日本貿易振興機構ハノイの調査報告によりますと、ベトナムに進出した化粧品メーカーは、

【日本】 Cezanne, Cle de Peau Beaute, Kanebo, Kose, Menard, Naris, Shiseido, Shu Uemura, SK-II, Za

【欧米勢】 Artdeco, Benefit, Bobbi Brown, Bourjois, Chanel, Christian Dior, Clarins, Clinique, Durance, Elizabeth Arden, Estee Lauder, Givenchy, Guerlain, LAB Series, Lancome, L' Apothiquaire, L' Occitane, L' Oreal, L' ovite, M.A.C., Make up Forever, Maybelline, Revlon, Sisley Paris, The Body Shop, Vichy, Yves Rocher, Yves Saint Laurent

【韓国】 Amore Pacific, Etude House, It's Skin, Laneige, Missha, O HUI, Skin Food, The Face Shop, Tony Moly, Whoo

となっております。

なお、Maybelline, Nivea, L' Oreal, The Face Shop の4つのブランドだけで全体マーケットシェアの60%を占めています。日系ブランドではShiseido 4%、Kose 1%となっています。日本製化粧品に対する評価は極めて高いのでありますが、まだまだベトナム消費者にとっては高嶺の花であり、高所得者層のみへの販売に留まっています。

しかし日系コンビニエンスストアならびにイオンなどの日系スーパーマーケットのベトナム進出が活発になる中、低～中価格帯の製品投入も徐々に始まっており、今後日本製品の市場占有率が高まることが期待されます。



都市部にある高級化粧品ショップ



地方にある庶民的な化粧品ショップ